



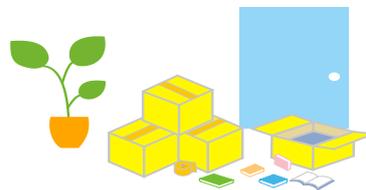
## 言葉の力

みなさんは、先月11月13日に92歳でご逝去(せいきょ)された「谷川俊太郎さん」を知っていますか。

谷川俊太郎さんは、日本を代表する詩人です。彼の作品は、教科書に掲載されているばかりか、多くの国々でも翻訳されて紹介されており、もはや世界的な詩人ともいっていい存在。もちろん日本でも、多くの人がその作品に触れています。たとえば、中学1年生の国語の教科書には「朝のリレー」といった作品が掲載されてきました。また、多くの子どもたちが小学校2年生の国語の教科書で出会う有名な童話「スイミー」の翻訳を手がけ、そのことがきっかけで日本でも広く親しまれる作品となりました。また、「空をこえて ラララ 星のかなた」の歌い出しで知られるアニメ「鉄腕アトム」の主題歌の作詞も担当しています。人生の大半を「言葉」と向き合って過ごした人です。次の詩も谷川さんの詩です。

はこ

もしぼくがはこだったら  
だれにもなにもいれさせない  
からっぽがいいいつまでも



でもちきゅうのうえにあるのだから  
からっぽはくきでいっぱい  
においもおともかくれてる

もしぼくがはこだったら  
ふたはあけておいてくれ  
みえないものをいれるために



いっしょにいたいひとにあったら  
はこをきもちでいっぱいにする  
「すき」がはこからあふれだすまで

(理論社 谷川俊太郎詩集『すき』より引用)

すべてひらがなで書かれたこの詩の最後に「すき」というだれもが自由に思い、表明することのできる明るくて肯定的な感情が伝わってきて、何とも言えず、心が温まりますね。ひらがな書きがもつ独特の「言葉の力」も感じます。

さて、先日行われた「**ビブリオバトル大会 学年代表決定戦**」では、おすすめの本の魅力について1・2年生の12名が熱く語ってくれました。どの人のプレゼンテーションも、おすすめ本のおもしろさや楽しさを伝えるとともに、聞く人に「読んでみたい!」と思わせるための工夫が盛り込まれていました。言葉の使い方はもちろん、声の抑揚・声の大きさなど話し方のテクニックを意識している人もいました。おかげさですが、「発表する言葉の一つ一つに命が吹き込まれているような」感覚になりました。今年の年末は「言葉」の美しさ・繊細さ・しなやかさ・説得力・いわゆる「言葉の力」を感じる機会がたくさんありました。12/23の**市長杯ビブリオバトル**に出場するみなさん、当日の健闘を祈っています!

### 保護者のみなさまへ

平素は本校教育にご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

ご家族でゆっくり過ごすことも多い年末から年始にかけて、お子様と一緒に過ごしながらか、対話する時間をできるだけ多く持っていただけることを願っております。

感染症の同時流行も懸念される時期となりました。健康にご留意いただき、充実した冬休みをお過ごしください。

